

第 2 回

島田市まち・ひと・しごと創生市民会議

令和2年8月20日

会議要録

令和2年度 第2回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議 会議要録

会議体の名称	令和2年度 第2回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議	
事務局(担当課)	島田市市長戦略部戦略推進課	
開催日時	令和2年8月20日(木) 15:00~17:00	
開催場所	島田市役所会議棟大会議室	
議題	<協議事項> (1) 第1期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価書(案)について <報告事項> (1) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業について	
出席者	創生市民会議 構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 島田市自治会連合会 竹林常務理事 ・ 島田青年会議所 齊藤理事長 ・ (株)FM島田 八木社長 ・ 島田市小中学校PTA連絡協議会 安藤会長 ・ NPOクロスメディアしまだ 大石理事長(欠席) ・ 島田商工会議所 大久保会頭 ・ 島田市商工会 岡村会長(代理出席 小野田事務局長) ・ 島田市観光協会 村田副会長 ・ 島田市農業経営振興会 仲田会長 ・ 島田高等学校 鈴木校長 ・ 島田市校長会 池谷会長(島田第二中学校長) ・ 島田掛川信用金庫 三浦理事 ・ 島田・榛北地区労働者福祉協議会 鈴木会長 ・ 島田公共職業安定所 伊藤所長 ・ 静岡県立大学(学生)土屋まどか(食品栄養科学部4年)(欠席) ・ 山本さくら(経営情報学部4年) ・ 長瀬合央(国際関係学部3年) ・ 県立島田高等学校(生徒)山中美空(2年)(欠席) ・ 県立島田高等学校(生徒)山本美咲(2年)(欠席) ・ 島田市 染谷市長
	オブザーバー	静岡県中部地域局 塚本局長
	事務局	島田市市長戦略部戦略推進課 駒形、興津、永田、酒井
	市関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 牛尾副市長 ・ 濱田教育長 ・ 鈴木市長戦略部長 ・ 戦略推進課 齋藤、望月、北川
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議構成員名簿 ・ 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議席次表 【資料1】 第1期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略総合評価書(案) 【資料2】 令和元年度第1期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価書(案) 【資料3】 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の概要 	

<開会の挨拶>

○市長戦略部長 皆様、御多用の所、御出席を賜り、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今から、「令和2年度第2回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」を開催いたします。本日の司会を務めさせていただきます島田市市長戦略部長の鈴木と申します。よろしく願いいたします。
それでは、島田市長の染谷から、御挨拶を申し上げます。染谷市長よろしく願いします。

○市長 皆様、こんにちは。市長の染谷でございます。
本日は御多用の中、第2回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。

開会にあたりまして、一言御挨拶申し上げます。

この会議は、本日が今年度2回目の開催となります。
第1回は7月7日に開催しており、第1期総合戦略の評価書案の協議や令和元年の人口動向を報告いたしました。
皆様からは、特にコロナ禍における今後の方向性について、活発な意見交換がされました。
生活や働き方が見直される中、共生社会の実現やリモートワーク実施等の課題が挙げられたほか、地方への移住志向は高くなることが予想されるなどの具体的かつ積極的な御意見をいただきました。

こうした意見を受けまして島田市としても、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生の推進を目的に国が設けた新たな臨時交付金の中で、移住やワーケーションを進める施策を立案しました。
なお、この交付金は3回に分けて交付される予定で、既に第一次募集、第二次募集に対して、計画書の提出を終えており、島田市は現時点で合計約11億円が交付される予定です。今後秋から冬にかけて第三次の募集も予定されております。

さて、本日の会議では、前回会議でも協議いただきました「第1期総合戦略の評価書（案）」について、皆様から御意見を頂戴したいと思います。
また、会議後半は、国の地方創生臨時交付金を活用した事業について、御紹介し、構成員の皆様との自由な意見交換の時間とさせていただきたいと考えております。

本日の会議が、様々な観点からの御意見や御提言をいただくことで有意義なものとなりますよう、皆様のお力添えを賜ることをお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

本日はよろしく願いいたします。

○市長戦略部長 ありがとうございます。
本日は、NPOクロスメディアしまだ 大石様、静岡県立大学 土屋様、金谷高等学校 山中様と山本様が、所用により欠席となっております。
それでは、次第に沿って早速、議事に入っていきたいと思えます。
議事を進めるにあたり、「島田市まち・ひと・しごと創生市民会議 設置要綱」第3条の規定に基づきまして、議長を染谷市長にお願いしたいと思えます。
よろしくお願ひします。

<議事（協議事項）（1）>

○市長 それでは、議長を務めさせていただきます。
皆様、よろしくお願ひします。
本日の議事は、「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関する協議事項が1点、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」に関する報告事項が1点ございます。
まず、はじめに、協議事項「第1期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価書（案）について」事務局から説明をお願ひします。

○事務局 資料1、資料2の説明
総合戦略の成り立ちと、第1期総合戦略の単年度及び5か年の総合評価書について説明
・島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の説明
・評価・検証（PDCAサイクル）の説明
・評価基準の説明
・評価書概要の説明

○市長 ただいまの説明について、質疑、御意見等はございませんか。

○A構成員 評価書の中で認定農業者数が安定して高い水準を維持していることが文言で書かれていて良かったです。高く評価することができます。

○市長 評価というとA～Dなど記号が目につきやすいですが、着実に成果が出ているものがあります。指標の置き方などは今後も検討する必要があると考えています。

○B構成員 資料1 P. 9「中心市街地の活性化基本計画に沿ったコンパクトシティの核となる中心市街地を形成するための施策の実行により、更なる地域産業の振興に努める。」とあるが、コロナ禍で先が見えない中、なかなか難しい取組だと思えます。自分も商業関係の人たちと意見交換をしているが、長期的な計画も必要だが、現場の声を吸い上げて、きめ細かくやっていくべきこと、中心市街地にあった方向をつけていくことが大切だと思えます。

○市長 市商工課でも商業関係の方々にお話しを聞き、色々な意見が出ています。中

長期的だけでなく、短期的に取組を行い、成果を出していくことが大切です。

○事務局 世の中の動きは速いと感じています。令和元年度に策定した中心市街地の計画では捉えられない部分もあり、世の中の動きを捉えながらきめ細やかな施策をスピード感もってやっていかななくてはならないと思います。

○C 構成員 「資料1」P. 10「新規創業者数」がA評価となっています。仕事柄他市町にも行きますが、これはだいぶよい数字だと思います。販路開拓事業費補助金等、創業者に対し、補助金や支援をしている成果ではないかと思います。

○市長 ここで新規創業した方々は辞めずにずっと続けています。これも特徴の一つだと思います。

○事務局 島田ビジネススクール「嶋田塾」を平成29年度から実施するなど、現在継続している人々のフォローも行っています。こういったことも成果に繋がったのではと考えています。

○D 構成員 2060年の将来人口を減らさないようにと施策に取り組み、実際に将来推計人口が2,300人増えていることは素晴らしいと思います。また、創業者が増えていくことは大変ありがたいこと。その反面、廃業者も増えている状況なので、多面的に活性化を目指さなくてはならないです。島田エール商品券も活性化に繋がっていくのと考えます。また、まちを活性化するためには、まちの人自身がまちを盛り上げるぞ、という気持ちになっていかななくてはならないと思います。

○市長 そのとおりだと思います。補足ですが、島田市では、8月29日から島田エール商品券というものを発売します。これは、島田市の商業を活性化するため、5,000円分の商品券を4,000円で購入することができる事業です。

ありがとうございました。委員の皆様からいただきました御意見については、評価書に反映させ、8月末に議会へ報告し、その後、一般公開する予定です。

<議事（報告事項）（1）>

○市長 続きます。報告事項「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業について」事務局から説明をお願いします。

○事務局 **資料3**の説明
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業について説明

○市長 ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑、御意見等ございませんか。

○E 構成員 「資料3」P. 3 事業概要「最適かつ特徴を生かした実施計画を策定」とありますが、こういったものを想定しているのでしょうか。

- 事務局 イノベーションを起こし、自然を生かしたものにしたいと考えています。例えば山の方で農業をやりながら、というようなものを想定しています。下田市では、造船所をサテライトオフィスにしたらあつという間に埋まったという事例があります。島田市でも茶畑を見ながら仕事をするということが都会に住む人には良いのかもしれないと考え、色々と検討しています。
- F 構成員 「資料3」P. 5「無料通信アプリクーポン」について、200 事業者を上限とするとしていますが、今の LINE アカウント登録者の傾向を分析し、その人たちにあった事業者を選定するのでしょうか、もしくは、先着順で決定するのでしょうか。
- 事務局 島田市 LINE アカウントは、8月25日に導入されるものとなります。「しまいく」や「しまだのおしごと」のラインアカウントと統合し、今後は、道路状況やゴミ収集のお知らせ、防災の情報、コミュニティバスの運行情報など、様々なものを発信していく予定です。参加する事業者は、先着順で選ばれると思います。
- 市長 島田市 LINE アカウントに登録の際に子どもの生年月日を登録すると予防接種や健診の日程のお知らせや、高齢者であれば熱中症注意のお知らせが届く。今までは広報紙などで広く周知して、欲しい情報を探してもらっていましたが、LINE の仕組みにより、その人に合った情報をプッシュ式でお知らせすることができます。コロナ化でデジタル化を進める中で、市民の方にもデジタル化を実感してもらいたいと考えています。
- G 構成員 LINE アカウントからの配信が実施できれば素晴らしいことだと思います。一方で、アプリを使うとなると、無料クーポンを利用できる人が限られないように均等に周知しなくては、若い人だけに利用されるものになってしまうと思います。
- 事務局 今年度末までにアカウントの登録者数5,000人を目標としていますが、それでは遅いと考え、本会議のように様々な人が集まる会議で周知していきます。是非皆様もお知り合いに紹介していただきたいと思います。よろしく願います。
- 副市長 今回は緊急で新型コロナウイルス対策として事業者への経済支援を主要な目的としています。今は短期的な効果を目的とし、今後長期的に応用できるようにしていきたいと考えています。
- H 構成員 「島田市ワーケーション推進事業」はいつぐらいの時期に、何人くらいを想定していますか。
- 事務局 その需要を今回の事業で調査し測りたいと考えています。

- H 構成員 宿泊業がひっ迫しているの、調査の段階でも地元の宿泊施設を活用して欲しいです。ワーケーションのトレンドがあるうちに、調査に力を入れるよりもすぐに動いて、その活動に投資した方がよいのではないかと思います。
- 市長 スピード感を持って動かなくてはいけないという良い気づきをもらうことができました。
- A 構成員 東京で働く人たちは、仕事と何ができるのでしょうか。ターゲットとなる相手への周知はどのように考えていますか。また、空き家の活用もよいと思います。
- 事務局 まず、ワーケーションをはじめることとなったきっかけは、東京の企業から「島田は素晴らしい所だ」と言われたことです。会社で緊急事態が発生しても、東京や名古屋にすぐ帰れる立地でありつつ、自然が豊かであるということが長所です。また、行政として現在使っていない施設を利用するのではなく、島田の良さを実感できる古民家を使いたいという声がありました。こういった意見を元に、どういった所で何をしたらよいのか、これから調べていきたいと考えています。
- 市長 東京事務所にも島田市の職員を1人派遣しており、島田市の良さについて営業しています。
- H 構成員 ワケーションという観点でも、Wi-Fi 環境が島田市全域で整うと良いのではないかと思います。
- 市長 島田市の光通信は100%行き届いているので、古民家については工事すれば活用できる状況になっております。
- 事務局 Wi-Fi だけでなくすぐ住むことができるよう家具等についてもそろえる必要があると考えています。
- 市長 続きまして、次第の5「意見交換」に移ります。
協議事項や報告事項に対する御意見、御感想及び御提案等、なんでも構いませんので、自由に御発言ください。
- I 構成員 「資料1」P. 5～6に各データが出されているが、これらは年代別に分析をするとよいと思います。また、P. 8の全体評価部分にあるが、指標の扱いについて、指標として良くないから外すというのはどうでしょうか。
- 市長 指標については、評価が良くなかったから外すというものではありません。より安定的に実状を測れる指標へと変更したのになります。年代別分析については、今後実施していきたいと思います。
- 事務局 年代と理由を併せて分析したデータについては、年代ごとに分けてしまうと

データが少なくなり、正確な情報として活用することが難しいため、集計していませんでした。今後はそういった部分もできるだけ分析していきたいと思えます。

- J 構成員 「資料1」P. 9「宿泊者数」とあるが、どこの地区が多いという情報が分かれば手を打ちやすいのですが、そういったデータはありますか。
- 事務局 集計は取っていますが、現在すぐに資料が出ないので、分かり次第お伝えします。
- K 構成員 現在、「来て go しまだキャンペーン」を行っていると思いますが、これについては、どこの施設が多かったという情報はありますか。
- 事務局 現在手持ち資料がないため、分かり次第お伝えします。
- G 構成員 「資料1」P. 8の主な成果として、認定農業者数が志太・榛原地区で1位ということはすごいことです。全ての項目を掘り下げるのは難しいと思いますが、特徴のある主な成果を掘り下げた方が次につながると思えます。
- 事務局 認定農業者を支援するために80万円限度の補助金制度を市独自で行っています。このような支援の積み重ねが結果に出ていると感じています。
- I 構成員 コロナによる影響は今年度の取組結果のデータに出てくるため、今年度データの取扱いについて、通常と違うことも考えて、市民会議でも考えていかないといけないと思えます。
- A 構成員 新型コロナウイルスの影響で、学校では、イベントも中止となっていますが、対応についてはどうでしょうか。
- 教育長 授業は未履修がないようにスケジュールを組んでいます。行事については、文科省からも大切にすると通達がきており、普段と時期をずらすなどして校内のイベントはなるべく実施できるよう対応しています。ただし、県外に行く修学旅行については、再検討する必要があります。また、卒業式、入学式といった事業は、やり方を考えながら実施する方向で考えています。
- L 構成員 市内の商業関係者は、臨時交付金の活用、国の持続化給付金で何とかやっている状況です。廃業の調査をしたところ15件該当がありましたが、これは新型コロナウイルスではなく高齢化が原因でした。是非島田の事業者を応援してほしいと思うので、商品券や無料通信アプリクーポンは地元の小規模商店で使ってほしいです。また、島田市のLINEアカウントは積極的に伝えていくことが大事だと思います。
- 市長 LINEアカウントについては、市内の色々なところにQRコードを置き、広く周知していくつもりです。

- M構成員 総合戦略の計画のスパンとして、5年間の1年目が新型コロナウイルスの影響で見通しできない状況です。5年の間にまた状況が急変するのではないかと、という懸念もあります。3年目位で中間的な見直しをしていく必要があると思います。
- 市長 首都圏一極集中の流れはこの5年間全国的に変わりませんでした。コロナ禍により突然、地方へという流れになりました。計画期間については、考えていけないといけないと思います。
- N構成員 コロナの関係により令和3年度から新たに始まることが多いと思います。学校では行事を無くさないようにとしていますが、今までどおりとはいかないところもあります。家庭への対応に教職員が多くの時間を割かれています。こういったところにも何か対応してもらえるとありがたいです。また、オンライン授業の必要性も感じましたが、オンラインではできないこともあると実感しました。
- 市長 5年前には1人1台の端末やエアコンが全教室へ配置されるなど、予想していなかったことです。また、会わなければならないことや会うことの大切さが見直されたと思います。
- B構成員 体験学習として、金谷中学校の生徒が事業所に来てくれました。島田を知ってもらう、好きになってもらうために積極的にこのような活動に協力していきたいと思いました。
- C構成員 この会議を通じて色々な業種の方と話す機会ができました。校長先生とも話すきっかけができ、先生たちの働き方改革が難航し、その原因の一つとして部活動が負担になってしまっているという話を聞きました。そこで、たまたま野球で島田市を活性化しようとしている我々が市内中学生を対象に野球教室を実施することとなりました。今後も様子を見ながら活動を継続していきたいと思います。
- 市長 まだまだ御意見は尽きないかと思いますが、予定の時間となりました。最後にオブザーバーとして御参加いただいております中部地域局塚本局長様から本日の会議全体を通して御意見をいただきたいと思います。
- 塚本局長 本会議では、様々な団体や学生さんの意見が聞けるということで毎回開催を大変楽しみにしています。
簡単に3点お伝えします。
1点目は、転出入状況について、「資料1」P. 5の④を見ると、全体として転入超過傾向になっているだけでなく、県外間の転出入状況が改善されており、県としても感謝すべき実績です。また、⑤では、子育て世代の転入が多いことが示されており、これはとても特徴的なことであると言えます。同じ転入でもセカンドライフの人々が多い市町もある中、まちの元気を考えると、若い世代が増えるのは元気なまちづくりができる、良い傾向

です。

2点目は基本目標についてです。子育て世代に対し優位性があるとのことですが、この方たちが住んでいてどんな感想を持っているのか把握してみたいと思います。移住してきた人はずっと住んでいる人が気付かない所に気付くことができ、新しい発見ができると思います。

3点目は本日の意見の中で気付いた点です。新型コロナウイルスの後、令和2年度の実績が落ちるのでは、という意見について、どのように扱っていくのか気を付けなくてはならないと感じました。悪い部分は全て「コロナだから」で済ませるのではなく、本質が何なのかを考えて実行してかなくてはなりません。

○市長

塚本局長ありがとうございました。

本日は、皆様からも前向きな意見、提案が出され、とても有意義な意見交換の時間になったと思います。

本日、皆様からいただいたご意見については、今後のまちづくりに生かして参ります。ありがとうございました。

それでは、会議の進行を事務局へ戻します。

○市長戦略部長

ありがとうございました。

最後に、次回、市民会議の予定です。本日の次第、「その他」欄にも書いてありますが、令和3年3月23日（火）午後3時00分から開催を予定しております。

場所については、市役所4階の第3委員会室を予定しておりますが、今回のように広い会場に変更する可能性があります。委員の皆様には、時期が近くなりましたら、改めて御連絡をさせていただきます。

それでは、以上をもちまして「令和2年度第2回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」を閉会とさせていただきます。

本日は、御多用の中、御出席いただきまして、ありがとうございました。

お気をつけてお帰りください。

～終了（17:00）～